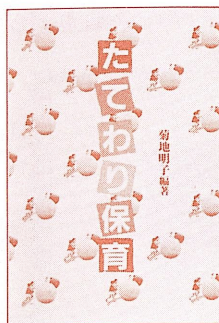


たてわり保育

異年齢児保育者形態によるたてわり保育の考え方とその実践工夫をまとめたもの。



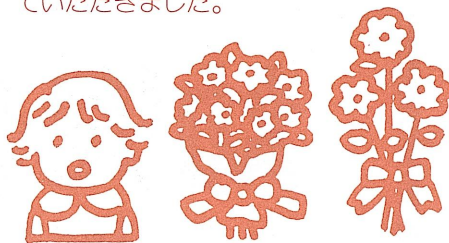
これからたてわり保育を試みる保育者のための参考となる書。

菊地明子・編著

B6変型判・288頁・定価1,600円

今の保育どこが問題？

自分の保育の誤りや考え違いは自分ではなかなか気づかないものです。そこで、自分の保育観が端的に出るとされる保育日誌をもとに、若い先生方に話しあっていたいただきました。



本吉圓子・編著

B6判・304頁・定価1,500円

子どもがつくる

—仲間とともに育つ幼稚園—

保育者が、「園の主人公は子ども」との視点に立っただけでこんなにも園生活の姿が変わってくる！ 子ども主体の保育をめざしたある園の変貌のレポート。



渡辺 明・著

B6判・232頁・定価1,300円

たんぽぽのように

3歳児保育の試み

保育することの楽しさ、そして子どものための保育を創造することの意義を、3歳児保育という枠を越えて示してくれる内容です。

子どもたちのそれぞれの個性がぶつかり合い、ことばや、動きが、思わず笑いをさそい、子どもとともに生活することの楽しさが、ページのそこかしこに溢れています。

その中で、三歳児保育の基本とあるべき姿はキチンとおさえられています。

松村容子・江間あい・編著

B5判・144頁・定価1,300円